

(調査様式1)

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和4年10月20日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4670600149
法人名	医療法人 互舎会
事業所名	グループホーム はまなす (2号棟)
所在地	鹿児島県阿久根市脇本9093番地2 (電話) 0996-75-0320
自己評価作成日	令和4年10月20日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.wam.go.jp/content/wamnet/pcpub/top/
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センター福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	令和4年11月17日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

母体の医療機関の敷地内に設置されている利点を活かし、医療面での24時早期のバックアップ体制が整備されています。利用者様及びご家族の1人ひとりの思いや希望を大切にしながら、安心と尊厳のある生活が送れる様に支援しています。はまなすは地域の高台に位置しており、豊かな自然に囲まれ四季折々の風景が楽しめる。建物の周囲は安全に散歩が出来、菜園には野菜を作り、収穫を楽しみにされています。毎月、利用者の暮らしぶりをお便りにして、近隣家族や遠方の家族に送付し、家族と共に利用者の望む暮らしを支援している。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	理念の尊厳・安心・自立については、玄関・職員室・居間と掲示し、職員会議で再確認しております。各職員が理念を意識した関わりに努めている。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	コロナ禍の為、保育園や児童館・ボランティアの方々との交流は出来なかった。馴染みの地域の友人等の窓越しでの面会により交流はできた。		
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	コロナ禍の影響で運営推進会議は出来ていないが、地域の方からの認知症の相談があれば受けている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	コロナ禍の為、運営推進会議を開催することが出来ず、2ヶ月毎に現状報告・インシデント報告書を地域の方・行政担当者・ご家族へ送付し意見等を貰い、ケアに活かせるようにしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる。	行政担当者に連絡をし、報告や相談等しながら意見を頂いている。又生活保護担当者も定期的に窓越し面会をして下さり利用者の実情をお伝えしている。		
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	法人の身体拘束廃止委員会に毎月参加しており職員会議でもスタッフが把握している。身体拘束廃止委員会を設定し2ヶ月毎に開催し不適切なケアについて振り返り職員で取り組んでいる。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	法人内の虐待防止委員会に参加し、職員会議で不適切なケアの振り返りをし尊厳に配慮したケアを再確認している。また定期的にアンケートを実施し虐待と思われる事がないか再確認している。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それを活用できるよう支援している。	権利擁護に関して現在対象となる利用者はいないが、権利擁護・成年後見制度について職員会議でも学習する機会を設けており知識を習得している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>入居決定時に、重要事項・運営規程の説明を行い、理解 納得して頂けるよう努めている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>面会時や電話連絡時に近況報告とともに意見を聞くようにしている。年1度アンケート用紙を送付し意見・要望をもらい運営に反映出来るようにしている。</p>		
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>管理者は他の職員と一緒に業務に当たっており、業務を通じて職員の意見を聞くようにしている。毎月職員会議で意見や提案を聞き運営に反映させている。また事務長や係の人に業務改善の相談を行っている。</p>		
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>職員の資格取得に向けた支援を行っている。資格手当・介護手当の支給等、給与水準や職場環境は改善している。希望休み・有給取得等 配慮している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>年間研修を計画 担当職員は資料の準備、他職員へ発表出来る様研鑽している。外部研修や市の研修はオンラインで積極的に参加出来る様 勤務体制を考慮している。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>地区グループホーム協会に加盟している。グループホーム協会開催の研修に参加 他事業所の取組み等を知り業務の見直しや改善に役立てている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>本人のこれまでの生活歴、育った環境等を情報収集し、より近い環境の中で安心して生活して頂けるように対応と支援を心掛けている。</p>		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>本人、家族の一番の思い、不安、困り事、意向を伺う事で信頼関係構築に努めている。日常生活状態を報告しながら対面し、初期の不安解消に努めている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>直ぐに必要な支援、援助、求めている事を本人、家族と一緒に考えている。また、相談し合える関係性が築けるような場面も考え、提供するようにしている。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>入居後は日々の生活に満足が得られ、本人の望む生活に近い状態での生活が送れるよう寄り添っている。生活を共にする事で信頼関係が出来ている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族には、面会時や毎月のお便りでご本人の様子を伝えている。本人の出来る事を話し合いながら必要な物を準備し家族とともに利用者を支え合う関係を築いている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	コロナ禍で外出は出来ないが電話や手紙で連絡を取れる様に支援している。		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者同士が親しく交流出来るように、利用者の相性を見極めながらソファの配置 食卓椅子の座る場所を考慮している。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	病院へ入院により退所された利用者にも面会に行ったり、これまでの関係性を大切にしながら、本人家族の相談や支援に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	一人ひとりの希望や意見を聞き又日々の中での会話 表情等から利用者の思いを受け取ったり、思いを代弁し本人の意向に添った暮らしが継続出来るようケアに活かし支援している。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	日々の暮らしの中や、お茶の時間等で語られた言葉や、家族からの情報をケース記録に記載し、職員間で情報共有している。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	利用者一人ひとりの状態を把握し、行動・言葉をケース記録に記録し、連絡帳、申し送り等で利用者の現状把握に努めている。状態の変化がある場合には計画の見直しを行っている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご本人家族からの要望や職員等からの情報を元に一人ひとりのニーズに沿った介護計画を作成している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>日々の様子を介護記録、申し送りシートに記録・内服・処置の情報を共有している。また気づいた点があれば連絡帳に記入し情報を共有し介護計画の見直しに反映している。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>協力医療機関への受診介助や他科受診時の服薬状況の提供や外出の準備、理美容の利用、洗剤や紙パンツ類の購入等、家族に代って出来る支援を行っている。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>コロナ禍の為、外出支援は出来ていないが、ホーム周辺の散策やはまなす菜園で出来た野菜の収穫が出来る様に支援している。</p>		
30	11	<p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>併設病院とは医療連携を結んでいる。月1回の訪問診療を受け、2週間毎に状態報告を行っている。併設病院に受診時は同行し状態報告し適切な医療に繋げている。他科受診時は情報提供し適切な医療を受けられる配慮をしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	併設病院の看護職員と24時間バックアップ体制が整い、職場内の看護職員が利用者の状態をタイムリーに伝え必要時は外来受診して医療的処置をして頂きながら異常の早期発見を見極めて状態悪化防止に努めている。		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	併設病院の主治医や看護師、入院先の連携室と利用者の状態や家族の意向も聞き情報交換しながら連携を取り早期に退院出来るように協力体制に繋げている。		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	本人や家族に対して終末期の希望などを聞き、医療との連携を取り看取りケアを実施している。看取りケアの指針を作成し主治医に相談しながら家族と方向性を共有している。		
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	応急手当や初期対応については、マニュアルを作成し職員会議の研修を行っている。急変時や事故発生時は管理者、病棟看護師・主治医に連絡と報告の体制を整えている。また定期的に消防署の救急救命講習を受講する体制を整えている。現在はコロナ禍の為、実施出来ていない。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	災害マニュアルを作成しいつでも見られるようになっている。併設病院の災害防止対策委員会に毎月参加し、病院職員の応援体制も整っている。火災通報訓練は毎月実施し全職員が利用者を安全に誘導できるようにしている。年に2回、消防署に自衛消防訓練通知書を提出している。1回は立ち合いの訓練を実施・指導を受けている。地震・水害等の災害の研修をオンラインで受け知識を身に付けることが出来た。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	1人ひとりを尊重し、尊厳を損ねないような言葉かけができるように職員会議で話し合っている。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	したくない事は本人の意思を確認し無理強いしないようにしている。話が出来ない方は表情を読み取る様にしている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	1人1人の体調に配慮しながら、入浴や食事は個人に合ったペースですすめる。行事等も本人の希望に添わなければ参加は無理強いはしない。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	季節毎に担当者は衣替えの手伝いを行い、季節に合った服装が出来るように支援し、必要な物は家族に連絡しお願いしている。男性の方には毎日髭剃りをしていただく。訪問美容を定期的に利用している。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	季節の食べ物を提供し季節を感じてもらおう又祝い事には献立を工夫している。1人ひとりの嚥下状態に合わせた食事形態で提供し好まない物は、代替品を準備している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	普通食・刻み食・ミキサー食と一人ひとりの咀嚼、嚥下力に応じた食事形態で提供している。苦手な食べ物の時は代替えのおかずを提供している。1日に摂取した食事量・水分量を記録し対応している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、口腔ケアは確実にを行い口腔内の清潔保持に努めている。毎夕食後は、義歯を洗浄剤に浸している。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄チェック表を活用し、個々の排泄パターンを把握している。介助の必要な利用者には、本人の動き 表情 時間で誘導 トイレでの排泄を促している。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	利用者の排泄状況を記録し、自然排便に繋げている。便秘傾向のある方は主治医に相談し下剤を調整しながら服用している。食事は繊維質の多い食材や野菜を多く取り入れ、牛乳・ヨーグルトを提供する等工夫している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	毎日入浴できる体制を整えてあり、個々に応じた入浴介助を行っている。入浴出来ない時には、清拭や足浴を行い清潔保持に努めている。入浴を好まない方には言葉かけの工夫やタイミングを見ながら対応している。		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	個々の睡眠パターンの情報把握している。昼寝がしたい時には自由に休める環境を整えている。照明や室温等配慮している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	個人別に薬の説明書がいつでも見られるようにファイルしてある。薬の変更時は連絡帳・ケース記録に記載し、情報を共有して。服薬時は飲み込み確認、薬の変更時は症状の変化の確認、申し送っている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	食材の下ごしらえ、洗濯物畳、新聞たたみ等をして貰っている。現在はコロナ禍で外出支援は出来ないが、趣味のペン立て作りや色塗り等で楽しめるように支援している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>現在はコロナ禍の為、外出支援は出来ていない。個別にATMでのお金の引き出しや自宅見学には出かけた。家族と他科受診には出掛けている。</p>		
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>利用者のおこづかいは預かっているが、コロナ禍により買い物には出掛けていない。家族支援のない利用者のATMでのお金の引き出し、利用料支払いの支援は行っている。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>電話を希望された時、家族からかかってきた時は、ホームの電話で話せるよう支援している。手紙はポスト投函を頼まれた時は行っている。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>食堂や居間の共同空間には、季節感を取り入れた作品を飾っている。適宜換気しながら室温・温度には配慮している。又テラスのベンチでいつでも外気浴を楽しめるように工夫している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>居間でテレビを観たり、気の合った方同士でお話したり、スタッフと過ごしたり思い思いに過ごせるように配慮している</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>居間には本人が気に入った塗り絵作品や家族が持参された花飾り、写真等を飾り心地良く過ごせるように工夫している。</p>		
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>ホーム内は安心して移動出来るようにバリアフリーとなっており廊下・トイレ・浴室には手摺りを設置し自立した生活が送れるように工夫している。居室が分かる様に居室入口には本人の写真を貼ってある。</p>		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
		○	4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ全ての家族と
		○	2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
		○	3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き生きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1 ほぼ全ての職員が
		○	2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない